



甲状腺がん、疑い含め一〇四人
―福島の子ども

東京電力福島第一原発

事故の被曝による子ども
の甲状腺への影響を調べ
ている福島県の検査で、
受診した約三〇万人のう
ち一〇四人が甲状腺がん
やその疑いと判定されて
います。この検査は事故
当時一八歳以下だった県
民を対象に実施され、県
内全域を一巡した二〇一
四年六月三〇日現在の結
果(暫定値)です。

一〇四人のうち、がん
と確定したのは五七人、
良性が一人。事故当時の
平均年齢は十四・八歳で、

腫瘍の大きさは五〜四一
ミリで平均十四ミリ。

疑いも含めると一〇万
人当たり三〇人以上の割
合でがんが見つかった計
算になります。甲状腺が
んの自然発生率は一〇万
人に一人ぐらいなので三
〇倍にもなります。

しかし福島県側は被曝
の影響とは考えにくいと
言っています。チェルノ
ブイリで子ども甲状腺
がんが増えたのは事故後
約四年目以降であること
や、甲状腺がんは成長が
遅いためだそうですが、
チェルノブイリと比べて

も意味がないと私は思い
ます。

チェルノブイリは一基
が一回だけ爆発したのに
比べ、福島では四基が壊
れ、そのうち三号機は水
素爆発を起こして大量の
放射能を空中にばらま
いているからです。そして

マルチダウンした核燃料
がどうなっているのか誰
にも分からないのです。

このような結果がある
にもかかわらず、除染を
すすめ帰還政策をすす
める安倍自民党政権を許
すことはできません。

続々と再稼働狙う安倍自民党政権は許せない

再稼働の動きが強まっ
てきました。一四年十二
月、原子力規制委は関電
高浜原発三、四号機につ
いて新規制基準を満たす
と判断。九電川内(せん
だい)原発は今年三月以
降、また、東電柏崎刈羽
原発は今年夏以降再稼働
かといわれています。安

倍自民党政権を握った
とたん、民主党政権時代
にいったん決まった廃炉
方針が反故にされてしま
いました。

次世代に放射能まみれ
の地球を残さないために
も安倍政権とたたかい廃
炉にしましょう。

アート・アド分会 N